



初朗法律書目錄

1641



114  
A 2791



佛朗西法律書目錄  
千八百六十七年巴勒出版  
ルイ・トリビエト氏編集

民法目錄

前加篇  
○法ラ公告シ施行スル事

第一卷 人事

第一章○民権ヲ受ル事及民権ヲ失フ事

第一節○民権ヲ受ル事

第二節○民権ヲ失フ事

第一條○佛朗西人タルノ性ヲ失ヒタルニ

依リテ民権ヲ失フ事

第二條○裁判所ヨリ刑法ノ申渡ニ付キ民

大正十一年四月贈  
大隈侯爵郵寄

権ヲ失フ事

第二章 ○ 民生ノ證書

第一節 ○ 總規則

第二節 ○ 出産ノ證書

第三節 ○ 婚姻ノ證書

第四節 ○ 死去ノ證書

第五節 ○ 佛朗西領地外ニ在ル兵士ノ民生ノ

證書

第六節 ○ 民生ノ證書ヲ改ムル事

第三章 ○ 住居ノ事

第四章 ○ 不在ノ事

第一節 ○ 不在ノ推考

第二節 ○ 不在ヲ申シ出ル事

第三節 ○ 不在ヨリ生スル事

第一條 ○ 不在ノ人其消跡ノ時所持セル物  
品ニツキ不在ヨリシテ生スル事

第二條 ○ 不在ノ人若シ不在ニアラザレバ  
所得トスヘキ權ニツキ不在ヨリシテ生  
スル事

第三條 ○ 婚姻ニツキ不在ヨリ生スル事

第四節 ○不在ノ父ノ幼年ノ子ヲ保護スル事

第五章 ○婚姻ノ事

第一節 ○婚姻ヲ契約シ得ルニ必用ナル諸件

第二節 ○婚姻ヲ祝スルニ係リタル禮式

第三節 ○婚姻ヲ承諾セサル事

第四節 ○婚姻ノ契約ヲ廢スル事

第五節 ○婚姻ヨリ生スル義

第六節 ○夫婦ノ權及ヒ務メ

第七節 ○婚姻ヲ廢スル事

第八節 ○再縁

第六章 ○離婚ノ事

第一節 ○離婚ノ原由

第二節 ○定リタル原由ヨリ離婚スル事

第一條 ○定リタル原由ヨリ離婚スル體裁

第二條 ○定リタル原由ヨリ離婚ヲ望ミ出

ル事ニツキ假リノ處置

第三條 ○定リタル原由ヨリ離婚スルノ訴

訟ヲ止ル事

第三節 ○夫婦互ニ承諾ノ上ヨリ離婚スル事

第四節 ○離婚ヨリ生スル事

第五節 ○ 夫婦ノ居ヲ分ツ事

第七章 ○ 親タル事及ヒ子タル事

第一節 ○ 夫婦ノ間ニ生レタル子ヲ子トスル

事

第二節 ○ 正室ノ子ヲ子タリトスルノ證

第三節 ○ 正室ニアラザル子

第一條 ○ 正室ノ子ニアラザル子ヲ正室ノ子ト

ナス事

第二條 ○ 正室ノ子ニアラザル子ヲ已ノ子ト

認メナス事

第八章 ○ 養子トスル事及ヒ養育中後見ヲナス事

第一節 ○ 養子トスル事

第一條 ○ 養子トスル事及ヒ養子トスルニツキ生スル事

第二條 ○ 養子トスルニツキテノ体裁

第二節 ○ 養育中後見ヲナス事

第九章 ○ 親ノ權

第十章 ○ 幼穉ノ事後見ノ事及ヒ後見ヲ免カル、

事

第一節 ○ 幼穉ノ事

第二節 ○ 後見ノ事

第一條○父母ノ後見

第二條○父母ヨリ任ゼラレタル後見

第三條○父母ヨリ高年ノ親類ニテ後見スル事

第四條○親類ノ衆議ニヨリ任セラレタル

後見

第五條○後見ノ輔佐役

第六條○後見ヲ免スル原由

第七條○後見ノ任ニ當ラザル事、後見ノ職ヨリ除ク事後見ノ職ヲ廢スル事

第八條○後見人ノ支配スル事

第九條○後見人ノ勘定書

第三節○後見ヲ免カル、事

第十一章○壮年ノ事、狂氣暗愚等ニテ自己ノ生産ヲ治ムル能ハザル事、裁判所ヨリ命ジタル評議人ノ事

第一節○壮年ノ事

第二節○狂氣暗愚等ニテ自己ノ生産ヲ治ムル能ハザル事

第三節○裁判所ヨリ命ジタル評議人ノ事

第二卷 ○ 品物及ヒ所持品ノ種類

第一章 ○ 品物ノ區別

第一節 ○ 静産

第二節 ○ 動産

第三節 ○ 所持人ト所持品トノ管係

第二章 ○ 所持トスル事

第一節 ○ 所持品ヨリ生シタル物ヲ以テ所有

トスル權

第二節 ○ 所持品ニ合シテ所持品ト同体ニナル物ヲ所有トスル權

第一條 ○ 静産ヲ所有トスルノ權

第二條 ○ 動産ヲ所有トスルノ權

第三章 ○ 他人ノ所有ヨリ生スル利益ヲ所得トスル事用ヒテ住スル事

第一節 ○ 他人ノ所有ヨリ生スル利益ヲ所得

トスル事

第一條 ○ 他人ノ所有ヨリ生スル利益ヲ所

得トスル人ノ權

第二條 ○ 他人ノ所有ヨリ生スル利益ヲ所

得トスル人ノ義

第三條 ○ 他人ノ所有ヨリ生スル利益ヲ所得トスル事ノ終ル方法

第二節 ○ 用ヒテ住スル事

第四章 ○ 地ノ務

第一節 ○ 地ノ位置ヨリ生スル務

第二節 ○ 法律ヨリ定リタル務

第一條 ○ 中間ニアル堀及ヒ溝

第二條 ○ 造営ノ為ニ定メタル距離

第三條 ○ 近隣ノ所有物ヲ見越ス事

第四條 ○ 屋上ノ承溜

第五條 ○ 通行ノ權

第三節 ○ 人ノ所行ニテ定リタル土地ノ務

第一條 ○ 土地ノ務ノ種類

第二條 ○ 土地ノ務ノ定マル方法

第三條 ○ 土地ノ務ヲ受クル持主ノ權

第四條 ○ 土地ノ務ノ終ル方法

第三卷 ○ 人ノ所持ヲ得ルノ法

総規則

第一章 ○ 相續

第一節 ○ 相續ノ手初及ヒ相續人ノ相續ヲス



ル事

第二節 ○ 相續スルニ必用ナル件

第三節 ○ 相續ノ順序

第一條 ○ 総規則

第二條 ○ 先代ニ代ル事

第三條 ○ 相續ヲ若年ノ親族ニ與フル事

第四條 ○ 相續ヲ高年ノ親族ニ與フル事

第五條 ○ 本宗ノ親族ニアラズシテ相續ス

ル事

第四節 ○ 不規則ノ相續

第一條 ○ 正室ノ子ニアラザル子其父母ノ

所有物ヲ相續スルノ權及ヒ正室ノ子ニ

アラザル子ニ子孫ナク死シタル時相續

スル事

第二條 ○ 夫婦ノ中生残リタル者ノ權及ヒ

國ノ權

第五節 ○ 相續ヲ承諾スル事承諾セザル事

第一條 ○ 承諾スル事

第二條 ○ 相續ヲ見捨ル事

第三條 ○ 相續人相續シタル物品ノ借貸ヲ

勘定シ其残品ヲ所有トスル權其權ヨリ  
生スル事及ヒ其權ヨリ生スル義

第四條 ○ 相續人歿乏シタル事

第六節 ○ 相續スル品物ヲ分ツ事及ヒ相續シ

タル品物ノ目錄

第一條 ○ 相續スル品物ヲ分ツ事及ヒ其体

裁

第二條 ○ 相續シタル品物ノ目錄

第三條 ○ 負債ヲ拂フ事

第四條 ○ 相續シタル品物ヲ分ツ事ヨリ生

スル事及ヒ分チタル物ノ受合

第五條 ○ 分チタル事ヲ廢スル事

第二章 ○ 贈物遺物

第一節 ○ 総規則

第二節 ○ 贈物遺物ヲ與ヘ又ハ受ルヲ得可

キ事

第三節 ○ 贈物トナスヘキ所持品及ヒ所持品

ヲ人ニ過與セシ時減損スル事

第一條 ○ 贈物トナスヘキ所持品

第二條 ○ 所持品ヲ人ニ過與セシ時減損ス

ル事

第四節 ○ 贈物

第一條 ○ 贈物ノ体裁

第二條 ○ 贈物ヲ取戻ス能ザル規則外ノ事

第五節 ○ 遺言ノ規則

第一條 ○ 遺言ノ体裁ニツキタル総規則

第二條 ○ 遺物ノ体裁ニツキタル格別ノ規則

第三條 ○ 遺物ヲ受クル人ノ規則及ヒ都テ  
ノ遺物ノ事

第四條 ○ 所有品ヲ全ク遺物トスル事

第五條 ○ 所有品ヲ一部分遺物トスル事

第六條 ○ 格段ノ遺物

第七條 ○ 遺言ヲ取扱フ人

第八條 ○ 遺言ヲ廢スル事及ヒ遺言ノ無益

トナル事

第六節 ○ 遺物ヲ與フル人ノ孫ノ為ニ設タル

規則又其兄弟姉妹ノ子ノ為ニ設タル規則

第七節 ○ 父母又ハ其他ノ高年ナル親族ヨリ

若年ノ者ニ所持品ヲ分配スル事

第八節 ○ 婚姻ノ契約ニ因リ夫ヨリ妻ニ與フル物又妻ヨリ夫ニ與フル物及ヒ婚姻ヨリ生ル子ニ與フル物

第九節 ○ 婚姻ノ契約ニヨリ又ハ婚姻ヲナシタル間夫婦ノ間ノ規則

第三章 ○ 諸契約ノ事

第一節 ○ 前加ノ規則

第二節 ○ 契約ノ慥ナルニ必用ナル件

第一條 ○ 雙方承諾ノ事

第二條 ○ 契約スル人々ノ契約ヲナシ得ル

許シ

第三條 ○ 契約ノ主意及ヒ其物品

第四條 ○ 契約スル原由

第三節 ○ 契約ノ義ヨリ生スル事

第一條 ○ 総規則

第二條 ○ 與フルノ義

第三條 ○ 為シ或ハ為サルノ義

第四條 ○ 契約ノ義ヲ行ハサルヨリ生スル

得失

第五條 ○ 契約書ヲ講スル事

第六條 ○ 契約書ヨリシテ他人ニ對シ得失ノ生スル事

第四節 ○ 契約ノ義ノ種類

第一條 ○ 事ノ模様ニ從フ契約

第一 ○ 總テ事ノ模様ニ從フ事及ヒ其種類

類

第二 ○ 事ノ起ルマテ契約ヲ止メ置ク事

第三 ○ 事ノ有無ニ準シ契約ヲ行止スル事

事

第二條 ○ 時限ノ定リタル契約

第三條 ○ 互相交換ノ契約

第四條 ○ 分ツ可ラサル契約

第一 ○ 財主互ニ分ツ可ラサルノ契約

第二 ○ 負債ヲナスモノ互ニ分ツ可ラザル契約

ル契約

第五條 ○ 分ツ可キ契約及ヒ分ツ可ラザル

契約ヨリ生シタル義

第一 ○ 分ツ可キ契約ノ義ヨリ生シタル

事

第二 ○ 分ツ可ラサル契約ノ義ヨリ生シ

タル事

第六條 ○ 契約ニ背ク時ハ刑罰ヲ受ク可キ

契約

第五節 ○ 契約ノ義ノ終ル事

第一條 ○ 拂フ事

第一 ○ 総テ拂フ事

第二 ○ 名代ヲ以テ拂フ事

第三 ○ 拂フ事ヲ受合フ事

第四 ○ 拂フ事ヲ言ヒ出ス事及ヒ其言ヲ

受サル事

第五 ○ 所持品ヲ讓ル事

第二條 ○ 契約ヲ寢スル事

第三條 ○ 負債ヲ見捨ル事

第四條 ○ 償ノ事

第五條 ○ 互ニ相借貸スル物ヲ以テ雙方ノ

負債ヲ平均スル事

第六條 ○ 拂フ可キ物ノ損失

第七條 ○ 契約ヲ廢スルニツイテノ訴訟

第六節 ○ 契約ノ権ノ證及ヒ拂方ノ證

第一條 ○ 文面上ノ證

- 第一〇官吏ノ前ニテ為シタル證書
- 第二〇私ノ間ニ為シタル證書
- 第三〇割符ノ事
- 第四〇證書ノ寫書
- 第五〇諸事ヲ取極ハムル為ノ證書
- 第二條〇證人ノ事
- 第三條〇推考ノ事
- 第一〇法律ニテ定リタル推考
- 第二〇法律ニテ定ラサル推考
- 第四條〇雙方ニテ打明ス事

第五條〇誓ノ事

- 第一〇争ヲ決定スル誓
- 第二〇役所ヨリ授ケラレタル誓
- 第四章〇契約ナク偶然組合ヲナス事
- 第一節〇契約ナク偶然組合ヲナス事
- 第二節〇損害及ヒ意ナク為シタル損害
- 第五章〇婚姻ノ契約及ヒ夫婦ソレ々ノ權
- 第一節〇總規則
- 第二節〇夫婦所有物ヲ互ニ相用ル事
- 第一款〇法律ニ從テ夫婦所有物ヲ

互ニ相用ル事

第一條○夫婦互ニ相用ル所有物ノ受取ル可物渡ス可キ物

第一○夫婦互ニ相用ル物ノ受取ル可物

第二○夫婦互ニ相用ル物ノ渡ス可キ物

及ヒ互ニ相用ル物ニツキ生スル所ノ訴

訟

第二條○夫婦互ニ相用ル物ヲ支配スル事

及ヒ夫婦ノ交ニツキ夫又ハ婦ノ仕業ヨ

リ生スル事

第三條○夫婦其所有物ヲ互ニ相用ル事ヲ

廢スル事及ヒ其事ヨリ生スル事

第四條○夫婦其所有物ヲ相用ユルヲ承

諾スルヲ承諾セザルヲ及ヒ其事ニ関係

セル箇條

第五條○夫婦其所有物ヲ互ニ相用ユル事

ヲ承諾シタル後其所有物ヲ分ツ事

第一○受取ル可キ物ヲ分ツ事

第二○渡ス可キ物及ヒ負債ヲ拂フニツ

キ夫婦互ニ金ヲ出シ合スル事



第六條○夫婦其所有物ヲ互ニ相用ユル事  
ヲ承諾セザル事及ヒ其事ヨリ生スル事  
件

○夫婦ノ中一人又ハ兩人共其前婚ノ  
子タル時規則ニ從テ其所有物ヲ相  
互ニ用ユル事

第一款○契約ニ從テ夫婦其所有物  
ヲ相互ニ用ユル事及ヒ法律ニ從  
テ所有物ヲ相互ニ用ユル事ヲ變革  
シ又ハ廢棄スル契約

第一條○夫婦ノ縁ヲ結ヒタル間ニ夫或ハ  
婦ノ所得トナシタル所有物ヲ相互ニ用  
ユル事

第二條○動産ノ全部又ハ一部分ヲ夫婦相  
互ニ用ユル事ヨリ除ク事

第三條○静産ヲ假ニ動産ナリトシテ夫婦  
相互ニ用ユル箇條

第四條○負債ヲ分ツ箇條

第五條○婦其夫ト相互ニ用ヒタル物ヲ負  
債ナキモノトナシ取戻ス事

第六條 ○夫婦契約ヲナシテ互ニ相用ヒタル所有物ヲ分タザル前ニ各々互ニ自己ノ所有トナス物

第七條 ○夫婦相互ニ用ヒタル所有物ヲ不同ニ分ツ箇條

第八條 ○總体ノ所有物ヲ相互ニ用ユル事前ノ八條ニ適當ニタル規則

第九條 ○所有物ヲ相互ニ用ユルヨリ取除ク契約

第一 ○夫婦其所有物ヲ相互ニ用ユル事

ナク婚姻スル箇條

第二 ○所有物ヲ分ツ箇條

第三節 ○婦ノ持參物ヲ夫婦相互ニ相用ユル物ト為サル規則

第一條 ○持參物ヲ贈ル事

第二條 ○持參物ニツキ夫ノ權及ヒ持參物ヲ他人ニ渡シ可ラサル事

第三條 ○持參物ヲ返ス事

第四條 ○夫婦ノ縁ヲ結ヒシ間婦ノミニテ用ユル品物

○格別ノ規則

第六章 ○賣拂ノ事

第一節 ○賣拂ノ定法

第二節 ○賣買ニ能ク可キ人

第三節 ○賣ル可キ物

第四節 ○賣ル人ノ義

第一條 ○總規則

第二條 ○品物ヲ渡ス事

第三條 ○賣拂ノ受合

第一 ○賣拂ニツキ外ニ其品物ノ持主ナ

キヲ受合事

第二 ○賣ラントスル物品ノ欠乏ナキヲ

受合ノ事

第五節 ○買者ノ義

第六節 ○賣拂ヲ廢棄スル事

第一條 ○買戻ヲナシ得ル事

第二條 ○他人ノ害ヲ生スル為メニ賣拂ヲ

廢スル事

第七節 ○數人ニ分配ス可ラサル靜産ヲ糶賣

ニスル事

第八節 ○ 引負ラ他人工移ス事及其他ノ權

第七章 ○ 交換ノ事

第八章 ○ 借受ノ契約

第一節 ○ 總規則

第二節 ○ 物ヲ借り受ル事

第一條 ○ 家及ヒ耕耘ニ管係シタル物ヲ借  
リ受ル規則

第二條 ○ 借家ノ規則

第三條 ○ 田地ヲ借り受ル規則

第三節 ○ 人カヲ借ル事

第一條 ○ 僕婢及ヒ諸工ヲ雇フ事

第二條 ○ 水陸トモニ運送人ヲ雇フ事

第三條 ○ 造築請負ノ事

第四節 ○ 獸類ヲ借り受ル事

第一條 ○ 總規則

第二條 ○ 利益ヲ分タズシテ獸類ヲ借ル事

第三條 ○ 利益ノ半ヲ分テ獸類ヲ借ル事

第四條 ○ 地ノ持主ヨリ其地ヲ借ルモノ又

ハ地ヨリ生スル利益ヲ一部分與フ可キ  
約束ニテ耕作セシムル人ニ獸類ヲ貸ス事

第一〇地ノ持主ヨリ其地ヲ借ルモノヘ  
獸類ヲ貸ス事

第二〇地ヨリ生スル利益ヲ一部分與フ  
可キ約束ニテ耕作セシムル人ニ獸類  
ヲ貸ス事

第五條〇尋常誤テ獸類ヲ貸ス契約ナリト  
言ヘル契約

第九章〇會社ヲ結フ契約

第一節〇總規則

第二節〇會社ノ種類

第一條〇一般ノ會社

第二條〇別段ノ會社

第三節〇會社ニ入りタル人相互ニ為シタル  
契約及ヒ他人ヘ對シタル契約

第一條〇會社ニ入りタルモノ互ニ為シタ  
ル契約

第二條〇會社ニ入りタルモノ他人ヘ對シ  
ナセル契約

第四節〇會社ノ終ル可キ方法

〇貿易會社ノ規則

第十章 ○ 貸シ與ヘノ事

第一節 ○ 品物ヲ用ヒ盡スナカル可シトノ  
契約ニテ貸ス事

第一條 ○ 品物ヲ用ヒ盡スナカル可シト  
ノ契約ニテ貸ス定法

第二條 ○ 借り受ル人ノ契約

第三條 ○ 貸シ與ル人ノ契約

第二節 ○ 品用ヲ用ヒ盡ス可シトノ契約ニテ  
貸ス事

第一條 ○ 品用ヲ用ヒ盡ス可シトノ契約ニテ

貸ス定法

第二條 ○ 貸ス人ノ義

第三條 ○ 借ル人ノ約束

第三節 ○ 利分ヲ取り貸ス事

第十一章 ○ 品物ヲ預ル事及ヒ雙方ニテ相争フ

品物ヲ預リ置ク事

第一節 ○ 総テ物ヲ預ル事及ヒ預リ方ノ種類

第二節 ○ 當然ノ預リ方

第一條 ○ 預リ方契約ノ定法

第二條 ○ 自己ノ好ミヲ以テ預クル事

第三條 ○ 預ル人ノ義

第四條 ○ 預クル人ノ義

第五條 ○ 止ムヲ得スシテ預クル事

第三節 ○ 雙方ニテ相争フ品物ヲ預リ置ク事

第一條 ○ 雙方ニテ相争フ品物ヲ預リ置ク

種々ノ仕方

第二條 ○ 雙方ニテ相争フ品物ヲ契約ノ上ニテ

預クル事

第三條 ○ 雙方ニテ争フ品物ヲ裁判所ノ命

ニテ預クル事

第十二章 ○ 不愷ナル事ニツキテノ契約

第一節 ○ 賭事ノ契約

第二節 ○ 生涯中貸シ置ク契約

第一條 ○ 其契約ノ愷ナル可キニ必用ナル

箇條

第二條 ○ 其契約ヨリ契約シタル人々ノ間

ニ對シ生スル事

第十三章 ○ 代人ノ事

第一節 ○ 代人トナルノ定法及体裁

第二節 ○ 代人ノ義

第三節 ○代ヲ頼ム人ノ義

第四節 ○代人タル事ノ終ル可キ種々ノ仕方

第十四章 ○保證ノ事

第一節 ○保證ノ定法及ヒ保證ノ分限

第二節 ○保證ヨリ生スル事

第一條 ○財主ト保證人トノ間ニ保證ヨリ

シテ生スル事

第二條 ○負債人ト保證人トノ間ニ保證ヨ

リシテ生スル事

第三條 ○保證人等ノ間ニ保證ヨリ生スル

事

第三節 ○保證ノ終ル事

第四節 ○法律ニ從ツタル保證及ヒ裁判ニ從

ツタル保證

第十五章 ○雙方ニテ既ニ起リタル争ヲ終リ又

ハ起ラントスル争ヲ防ントスル契約ノ事

第十六章 ○民法ノ事件ニツギ身体ヲ禁錮スル

事

第十七章 ○負債人ヨリ其負債拂方ノ請合ノ證

トシテ財主ヘ物ヲ渡ス契約ノ事



第一節 ○負債拂方ノ請合トシテ動産ヲ渡ス  
事

第二節 ○負債拂方ノ請合トシテ静産ヲ渡ス  
事

第十八章 ○「アリウイレ」ニシテ負債ノ種類ニヨリ一人  
ノ財主他ノ財主ヨリ  
モ以前ニ其負債ノ償方トシテ及ヒ「イボ」ヲ  
負債人ノ静産動産共ニ得ルノ権及ヒ「イボ」ヲ  
ク「財主其貸タル物ノ種類ヲ問ハズ他ノ財主  
ノヨリモ以前ニ負債ノ償方トシテ負債人ノ静  
産ヲ得  
ノ権

第一節 ○總規則  
第二節 ○「アリウイレ」ニシテノ事

第一條 ○動産ニツキタル「アリウイレ」ニシテノ  
事

第一 ○動産エ付キタル總体ノ「アリウ  
レ」ニシテノ事

第二 ○別段ノ動産ニツキタル「アリウ  
レ」ニシテノ事

第二條 ○静産ニツキタル「アリウイレ」ニシ  
テノ事

第三條 ○静産及ヒ動産ニツキタル「アリウ  
レ」ニシテノ事

第四條 ○「プリウイレーシユ」ノ方法

第三節 ○「イポテック」ノ事

第一條 ○法律ニ從ツタル「イポテック」ノ事

第二條 ○裁判ヨリ生シタル「イポテック」ノ事

第三條 ○契約ヨリ起レル「イポテック」ノ事

第四條 ○「イポテック」ノ順序

第四節 ○「プリウイレーシユ」及ヒ「イポテック」ヲ書留  
ル法

第五節 ○書留タルモノヲ塗抹スル事及ヒ  
減損スル事

第六節 ○他人エ對シ「プリウイレーシユ」及ヒ「イポ  
テック」ヨリ生スル事

第七節 ○「プリウイレーシユ」及ヒ「イポテック」ノ終ル  
事

第八節 ○所有物ヲ「プリウイレーシユ」及ヒ「イポテック」  
ヨリ取除ク事

第九節 ○夫及ヒ後見人ノ所有物ヲ「イポテック」ト  
シテ書留メザル時「イポテック」ヲ取除ク方法

第十節 ○書留ノ公然ナル事及ヒ預リ人ノ引  
請タル事

第十九章 ○ 所有物ヲ強テ取上ル事及ヒ財主ノ  
順序

第一節 ○ 所有物ヲ強テ取上ル事

第二節 ○ 財主ノ順序及ヒ財主等へ負債人ヨ  
リ與へタル品物ヲ配分スル事

第二十章 ○ プレスクリプション法律ニテ定タル時  
限ノ間中絶スル

ナク物ヲ所持スル事ヨリノ事  
シテ其物ヲ固有ノ物トナス事

第一節 ○ 総規則

第二節 ○ 所持スル事

第三節 ○ プレスクリプションヲ妨クル原因

第四節 ○ プレスクリプションヲ中絶セシメ又

ハ止メシムル原因

第一條 ○ プレスクリプションヲ中絶セシムル

原因

第二條 ○ プレスクリプションヲ止メシムル原

因

第五節 ○ プレスクリプションニ必用ナル時限

第一條 ○ 總規則

第二條 ○ 三十ヶ年ノプレスクリプション

第三條 ○ 十年又ハ二十年ノプレスクリプション

第四條 ○ 別段ナル「アレスタクシヨシ」

詞訟法目録

第一篇 ○ 裁判所ニ於テノ訴訟

第一卷 ○ 訴訟ヲ治ムル裁判ノ事

第一章 ○ 裁判所ヘ呼出ス事

第二章 ○ 訴訟ヲ治ムル裁判役ノ出席及ヒ訴訟

人相手方共出張スル事

第三章 ○ 出張スル事ナキニ因リ裁判スル事及

キ其裁判ヲ拒ム事

第四章 ○ 物ヲ所有スル事ニツキテ起リタル訴

訟ノ裁判

第五章 ○ 決定ニ至ラサル<sup>裁</sup>裁判及ヒ其裁判ヲ取  
行フ事

第六章 ○ 請合ノ事ノ訴訟

第七章 ○ 保證人ノ前ニテ吟味スル事

第八章 ○ 場所ヲ検査スル事及ヒ物品ノ價ヲ積  
ル事

第九章 ○ 訴訟ヲ治ムル裁判役ノ命ヲ拒ム事

第二卷 ○ 下等ノ裁判所

第一章 ○ 和解ノ事

第二章 ○ 定日ニ裁判所ヘ呼出ス事

第三章 ○ 名代人ヲ差出ス事及ヒ言拒ム事

第四章 ○ 政府ノ官吏ニ報告スル事

第五章 ○ 訟ヲ聴ク事訴訟ノ公然タル事及ヒ其

取締向

第六章 ○ 熟考ノ事及ヒ書面ニテ差圖ヲナス事

第七章 ○ 裁判ノ事

第八章 ○ 裁判所ヘ出張セサルニ因テノ裁判及ヒ

其裁判ヲ拒ム事

第九章 ○ 訴訟ノ道理ヲ論スルナク訴訟ノ箇  
條ヲ受ケサルト言拒ム事

第一節 ○ 外人ヨリ差出ス可キ請合ノ事

第二節 ○ 當時ノ裁判ヲ受ケス他ノ裁判ヲ乞

ハントスル事

第三節 ○ 裁判ヲ廢スル事

第四節 ○ 訴訟ニ答フルノ期日ヲ延フル事

第五節 ○ 相手方ノ差出シタル書類ヲ當人へ

指示ス事

第十章 ○ 書面ヲ證スル事

第十一章 ○ 書面ノ偽リナルヲ書留ムル事

第十二章 ○ 證據人ノ前ニテ吟味ノ事

第十三章 ○ 裁判人訴訟ノ起ル原由ノ地ニ至ル

事

第十四章 ○ 裁判所又ハ訴訟人ヨリ訴訟ノ事件

ヲ吟味シ其意ヲ言述ヘキ人ノ報告

第十五章 ○ 實事ニツキテノ吟味

第十六章 ○ 訴訟ノ重モタキタル箇條ニ添タル

事

第一節 ○ 訴訟ノ重モタキタル箇條ニ添タル

事件ノ裁判ヲ願出ル事

第二節 ○ 訴訟ノ間ニ立入ル事

第十七章○再ヒ訟へ出ル事及ヒ新タニ代人ヲ  
差出ス事

第十八章○事ヲ言ヒ又ハ為セシ覺ナシト言フ

事

第十九章○裁判役ノ中ニテ熟談スル事

第二十章○訴訟人又ハ其相手方ト親族タルニ

因リ他ノ裁判所へ訴訟ヲ移ス事

第二十一章○裁判所ノ命ヲ拒ム事

第二十二章○定タル期限ノ間訴訟人及ヒ相手方

ニテ公事ヲ言出ス事ヲ為サルニ因リ公事ヲ廢スル事

第二十三章○訴訟ヲ見捨ル事

第二十四章○急速ニ裁判セザルヲ得サル事件

第二十五章○貿易裁判所ニ於テノ公事

第三卷○下等ノ裁判所ヨリ上等ノ

裁判所へ訟へ出ス事

下等ノ裁判所ヨリ上等ノ裁判

所へ訟へ出ス事及ヒ其指圖

第四卷○裁判所誌ランカ為ノ非常

ナル方法

第一章○訴訟人又ハ相手方ヨリ他人ヲ以テ裁

判ヲ詰ル事

第二章 ○ 裁判ノ道理ヲ聴カント望ム事

第三章 ○ 裁判ノ一部分ヲ受ル事

第五卷 ○ 裁判所ノ取行ヒ方

第一章 ○ 請合ヲ受ル事

第二章 ○ 償ヲ定メ渡ス事

第三章 ○ 土地又ハ其外ノ静産ヨリ生スル物品

ヲ返ス事

第四章 ○ 勘定書ヲ渡ス事

第五章 ○ 費用ヲ償フ事

第六章 ○ 裁判ヲ強テ行ハシムル惣規則

第七章 ○ 財主負債人ニ属スル金高又ハ品物ヲ

取り之ヲ他人へ渡ス事

第八章 ○ 財主負債人ノ動産ヲ取り之ヲ賣拂ハ

シムル事

第九章 ○ 地ニ生シタル禾穀ノ類ヲ取ル事

第十章 ○ 負債人ヨリ他人ニ貸シタル金高ヲ財主

ニ方ニテ取ル事

第十一章 ○ 負債ノ品物ヲ賣拂ヒシ金高ヲ財主等

へ分配スル事



第十二章 ○ 負債人ノ静産ヲ取ル事

第十三章 ○ 負債人ノ静産ヲ取ル事ヨリ生スル

事件

第十四章 ○ 負債人ノ品物ヲ取リテ財主等ニ償

フ順序

第十五章 ○ 獄ニ繋ク事

第十六章 ○ 至急ノ裁判ノ節假リノ命ヲ下ス事

第二篇 ○ 種々ノ公事

第一卷

第一章 ○ 拂方ヲ裁判所ヘ言延フル事及ヒ其金

高ヲ裁判役ニテ預置ク事

第二章 ○ 土地家屋ノ持主其借受人ノ動産及地

ヨリ生スル物ヲ其負債ノ課代トシテ取り置ク

事

第三章 ○ 現今他人ニ属スル品物ヲ自己ニ属ス可

キ物ナリトシテ要スル事

第四章 ○ 負債人自己ノ意ヨリシテ償ノ為メ出

シタ品物ヲ糶賣トナシ賣拂フ事

第五章 ○ 裁判所決定書ノ寫書ヲ得ル為メ又ハ

之ヲ改メシムル為メニ設ケタル方法

第六章○不在ノ人ノ所有物ヲ他人ノ所有トナ  
スニ係リタル規則

第七章○婦ヨリ夫ニ對シ訴訟ヲ申述フ可キ免  
許ヲ裁判所ヨリ與ル事

第八章○夫婦其所有物ヲ互ニ分ツ事

第九章○夫婦ノ居ヲ分ツ事及ヒ離婚ノ事

第十章○後見人ヲ任スル事ニツキ親族等ノ熟  
談ノ事

第十一章○狂氣暗愚等ニテ自己ノ生産ヲ治ムル  
能ハサル事

第十二章○負債人負債ノ償方トシテ其所有物  
ヲ財主ヘ渡スニヨリ禁錮ノ罰ヲ免ル事

第二卷○相續取扱方ノ公事

第一章○死後其人ノ所有物ニ封印ヲ附ル事

第二章○封印ヲ附ル事ヲ拒ム事

第三章○封印ヲ解ク事

第四章○死去セシ人ノ諸所有物ノ目錄

第五章○其動産ヲ賣拂フ事

第六章○幼穉ノ人ニ屬スル静産ヲ賣拂フ事

第七章○死去セシ人ノ所有物ヲ分配スル事及

ヒ分配ス可カラサル品物ヲ糶賣ニナス事

第八章○相續人ノ所有トナル可キ品物目錄ヲ

差出シタルヨリシテ生ス可キ利益

第九章○夫婦其所有物ヲ互ニ相用ル事ヲ見捨

ル事」婦ノ持參セシ静産ヲ賣拂フ事」相續ヲ

見捨ル事

第十章○相續人ナキ時遺物ノ引請ヲナス為ノ

裁判所ヨリ任セラレタル人

### 第三卷

○訴訟ノ間ニ入りテ和解ヲナス事

○惣規則

### 商法目錄

第一卷○總テ貿易ノ事

第一章○商人ノ事

第二章○貿易ニツヒテノ書物

第三章○會社ノ事

第一節○種々ノ會社及ヒ其規則

第二節 ○ 會社ニ入りタル者ノ爭論及ヒ之ヲ

決定スルノ法

第四章 ○ 所有物ヲ分ツ事

第五章 ○ 商人ノ集會所レ為替ノ官吏レ貿易ノ世話

人

第一節 ○ 商人ノ集會所

第二節 ○ 為替ノ官吏及ヒ貿易ノ世話人

第六章 ○ 仲買人ノ事

第一節 ○ 總テ仲買人ノ事

第二節 ○ 水陸運送ノ事ヲ取扱フ仲買人ノ事

第三節 ○ 運送人ノ事

第七章 ○ 買賣ノ事

第八章 ○ 為替手形ノ事レビレータラドルニ證書

スル金高ヲ其證書ヲ持參スルモノ事レブレス  
ノへ渡ス可キ趣ヲ記シタル手形  
クリツシヨニ法律ニテ定タル時限ノ間中絶スルレ  
固有ノ物トナス事ナク物ヲ所持スルレヨリシテ其物ヲ

第一節 ○ 為替手形

第一 ○ 為替手形ノ体裁

第二 ○ 為替ノ為ニ以前ニ金ヲ預ケ置ク事

第三 ○ 手形ノ拂方ヲ承引スル事

第四〇 他人ノ周旋ニヨリ拂方ヲ承引スル  
事

第五〇 手形ノ拂期限

第六〇 手形ノ裏面ニ其手形ヲ持参セシ者  
へ金ヲ拂フ可シト記スル事

第七〇 手形ノ金高ヲ拂フ可キ人々相互ニ  
拂方ノ請合ヲナス事

第八〇 手形拂方ノ證書

第九〇 手形拂方

第十〇 他人ノ周旋ニテ手形ヲ拂フ事

第十一〇 手形ヲ持参スル人ノ権及ヒ義

第十二〇 手形ヲ定メ通り拂ハサルモノ諸  
用ノ損失ヲ引請可シト定ムル事

第十三〇 手形ヲ改テ拂方ヲ為シムル事

第二節 〇 トレータラドルノ事

第三節 〇 プレスタクリツインノ事

第二卷 〇 海上貿易

第一章 〇 船舶ノ事

第二章 〇 船ヲ取上ケ賣拂フ事

第三章 〇 船ノ持主ノ事

第四章○船將ノ事

第五章○水夫ヲ雇入ル事及ヒ雇賃ノ事

第六章○船ノ借渡シ證文ノ事

第七章○船將其船ノ積荷ヲ検査スル事

第八章○船ノ借賃ノ事

第九章○船ニ備リタル品物ヲ引當トナシ金ヲ

貸シ相當ノ利分ヲ得ル契約ノ事

第十章○海上請合ノ事

第一節○海上請合ノ契約書其体裁其目的

第二節○海上請合ヲ為ス人及ヒ為サシムル人ノ

義

第三節○海上請合ヲ頼タル品物ヲ見捨ル事

第十一章○船又ハ船ニアル品物ノ損害スル事

第十二章○風波等ニテ船ノ危急ナル時其荷物

ヲ海中ニ投入ル事

第十三章○「アレスクリシヨシ」ノ事 前章ヲ見ル可シ

第十四章○海上請合ノ事ニ係リタル訴訟ヲ拒

ム事

第三卷○分散ノ事及ヒ同シケル

ト懈怠ヨリ分散トナル事及ヒノ  
偽計ニテ分散ヲナス事ヲ云ノ

事

第一章 ○ 分散ノ事

惣規則

第一節 ○ 分散ヲ言述ル事及ヒ其事ヨリ生スル事

第二節 ○ 分散ノ事ヲ裁判スル官吏ヲ任スル事

第三節 ○ 分散人ノ品物ヘ封印ヲ附ル事及ヒ最初分散人ノ身体ニ係リテ行フ所置

第四節 ○ 假リノ「サングック」役為メニ分散人ノ

所有物ヲ取扱フヲ任スル事及ヒ其役人ヲ任セラレタル人ヲ替ユル事

第五節 ○ 「サングック」役ノ職掌

第一條 ○ 惣規則

第二條 ○ 封印ヲ解ク事及ヒ分散人所有物

ノ目錄

第三條 ○ 分散人ノ商賣品及ヒ動産ヲ賣拂

フ事財主其償金ヲ得ル事

第四條 ○ 分散人ノ権ヲ保護スル事

第五條 ○ 財主ノ借シタル金高ヲ證スル

事

第六節 ○「コンコルダ」

財主等ト分散人ト契

前ノ如ク其商賣ヲ為シ其利益ヨノ事  
リシテ貸シタル金ノ償ヲ得ル事  
ウニラン 財主等分散人ノ所有物ヲ已ノ方ニ  
引請負債金ヲ取り戻ス事

第一條 ○財主ノ集會

第二條 ○「コンコルダ」ノ事

第一 ○「コンコルダ」ヲナス事

第二 ○「コンコルダ」ヨリ生スル事

第三 ○「コンコルダ」ヲ廢スル事

第三條 ○負債人ノ所有物負債ノ償方ニ不

足ナル時ハ戸ヲ鎖ス事

第四條 ○財主ノ「ユウニラン」ノ事

第七節 ○財主ノ種類及ヒ分散ノ時其財主等

ノ權

第一條 ○分散人ノ負債拂方ヲ請合シ人

第二條 ○分散人ヨリ分散ノ以前其負債拂

方ノ請合ヲ受タル財主及ヒ分散人ノ動

産ニツキ「プリウレイ」ル前章ヲ見テ請タ

ル財主



第三條 ○ 負債人ノ静産ニツキ「イポツテツク」  
前章ヲ見及ヒ「ブリウレーシユ」ヲ得タル財主  
等ノ権

第四條 ○ 分散ノ時婦ノ権

第八節 ○ 財主等へ分散人ノ動産ヲ分ツ事及  
ヒ賣ル事

第九節 ○ 分散人ノ静産ヲ賣拂フ事

第十節 ○ 分散人ノ品物ヲ賣拂タル後取戻サ  
ントスル事

第十一節 ○ 分散ノ事ニツキ申渡タル裁判ヲ

### 拒ム方法

第二章 ○ 「バンケルード」前章ヲ見ノ事

第一節 ○ 尋常ノバンケルードノ事

第二節 ○ 偽許ヲ以テ為シタルバンケルードノ  
事

第三節 ○ 分散ノ事ニツキ別人ノ行ヒタル罪  
科

第四節 ○ 「バンケルード」ニテ分散シタル人ノ  
所有物ノ取扱方

第三章 ○ 分散人ニ分散ノ以前ノ如キ権ヲ返ス

事

第四卷 ○ 貿易ノ事ニ係リタル裁判

ノ事

第一章 ○ 貿易裁判所ノ作り立テ

第二章 ○ 貿易裁判所ノ権

第三章 ○ 貿易裁判所へ訟へ出ス体裁

第四章 ○ 貿易ノ公事ヲ上等ノ裁判所へ訟へ出

ス体裁

治罪法目録

前加規則

第一卷 ○ 裁判ノ取締向及ヒ其取締

向ヲ任セラレタル官吏ノ事

第一章 ○ 裁判ノ取締向

第二章 ○ 村落取締役人其補佐取締ノ全権人

第三章 ○ 田地及ヒ林ノ番人

第四章 ○ アロキユリウルシロア国民ニ代リテ裁判所ニテ公事ヲ

取扱ヒ國法ヲ検査シ然テ國及ヒ其代人

中ノ取締向ヲ取扱フ人  
第一節 ○ 裁判取締向ノ事ニツキアロキユリウ

ルジユロアルノ権

第二節 ○ アロキユリウルジユロアルノ職掌ノ行ヒ

方ヲ咎メ訟ル仕方

第五章 ○ アロキユリウルジユロアルヲ輔佐スル取締  
役

第六章 ○ 公事ヲ裁判シ得ル様ニ其事實ヲ吟味  
シ規則ヲ立ル裁判役ノ事

第一節 ○ 公事ヲ裁判シ得ル様ニ其事實ヲ吟  
味シ規則ヲ立ル裁判役

第二節 ○ 其職掌

第一條 ○ 現在犯シタル罪科ノ場合

第二條 ○ 公事ヲ裁判シ得ル様ニ其事實ヲ  
吟味シ規則ヲ立ル事

第一 ○ 惣規則

第二 ○ 訴訟

第三 ○ 證拠人ノ申述ヲ聞ク事

第四 ○ 證書類及ヒ證拠ノ為メニ差出ス

品物

第七章 ○ 裁判所へ出張ス可シトノ呼出シ書シ罪  
状ノ定ラサル内捕へ置ク事 罪人ヲ強テ裁判

所へ出ス事」罪人ヲ獄ニ繋ク事」

第八章○罪状ノ定ラサル内假リニ自由ニナシ  
置ク事

第九章○裁判ノ用意全ク出来シタル時裁判役  
ヨリ公告スル事

第二卷○裁判ノ事

第一章○取締向ノ裁判所

第一節○尋常ノ取締ノ裁判所

第一條○訴訟ヲ治ムル裁判所ヲ取締ノ裁  
判所トナス事

第二條○村落ノ取締役人取締ノ裁判役ト

ナリテ裁判ヲ行フ事

第三條○取締裁判所ノ裁判ヲ上等ノ裁判  
所へ訟へ出ス事

第二節○罰ヲ受ク可キ罪ノ裁判所

第二章○「シユリイ」罪ノ有無ヲ證スル為ノ管係ス  
メニ任セラレタル人  
可キ事務

第一節○訴訟ヲ言出ス事

第二節○「クウルタツシイズ」上等裁判ノ事  
所ノ名

第一條○裁判所ノ長官ノ職務

第二條 ○ 上等裁判所ニ於テ「プロキュリウル

ゼ子ラル 前文ニ載セタル「プロキュ  
リウジロア」ノ長官ノ職務

第三條 ○ 「プロキュリウルジロア」役上等裁

判所ニテ「プロキュリウルゼ子ラル」ニ代

リ行フ職務

第三節 ○ 「クウルタツシイズ」ニ於テノ公事

第四節 ○ 「吟味ノ事」裁判ノ事「裁判ノ申渡ヲ

取行フ事

第一條 ○ 吟味ノ事

第二條 ○ 裁判ノ事裁判ノ申渡ヲ取行フ事

第五節 ○ 「ジエリー」役ノ事及ヒ「ジエリー」役ヲ任ス

ル法

第一條 ○ 「ジエリー」役ノ事

第二條 ○ 「ジエリー」役ヲ任シ集會スル法

第三章 ○ 裁判ノ申渡ヲ拒ミテ訴出ス法

第一節 ○ 吟味ヲナス以前ニ定タル公事ノ仕

方及ヒ裁判ヲ廢スル事

第一條 ○ 罪状

第二條 ○ 罪ヲ改メシムル事及ヒ取締向ノ

事

第三條 ○ 上ノニケ條ニ違當スル規則

第二節 ○ 裁判ノ申渡ヲ廢セント願出ス事

第三節 ○ 裁判ノ申渡ヲ改メント願出ス事

第四章 ○ 格別ナル訴訟ノ種類

第一節 ○ 偽ノ罪

第二節 ○ 裁判所ノ命ニ從ハサルノ罪

第三節 ○ 裁判役其職務ヲ行フニツキ又ハ其

職務外ノ事ニツキ行フタル罪状

第一條 ○ 裁判役其職務外ノ事ニツキ行ヒ

タル罪科ヲ訴訟スル事

第二條 ○ 「クウルドカツサシラシ」他ノ裁判所ニテ

渡タル裁判所ノ名クウルロワマル上等裁判

所ノ名カウルダツシイズ上等裁判 等ヨリ外ノ裁

判役其裁判ニ於テ私ヲナシ又ハ其外其

職務ニ係リタル罪状ヲ訴訟スル事

第四節 ○ 裁判所ヘ對シ不敬ノ振舞ヲナ

シ又ハ言タル罪状

第五節 ○ 罪状ニツキ君主又ハ長官ノ證ヲ

受ル方法

第六節 ○ 罪ヲ言渡サレシ後逃亡シ再ニ捕ヘ

ラレタル人ノ實否ヲ明白ニスル事

第七節 ○ 證據トナルモノ又ハ裁判ノ言渡書

ヲ失ヒタル時所置ノ仕方

第五章 ○ 訴訟ヲ裁判スル裁判役ヲ定ムル事

一ノ裁判所ヨリ又一ノ裁判所ヘ裁判ヲ讓渡ス

事

第一節 ○ 訴訟ヲ裁判スル裁判役ヲ定ムル

事

第二節 ○ 一ノ裁判所ヨリ又一ノ裁判所ヘ

裁判ヲ讓渡ス事

第六章 ○ 別段ノ裁判所

第七章 ○ 公然ノ利益及ヒ惣体ノ安寧ノ為メニ

設ケタル事物

第一節 ○ 裁判ニ管係シタル諸事ヲ書留メ之

ヲ預ル人

第二節 ○ 囚獄

第三節 ○ 人ヲ無法ニ捕ユル一又ハ其勝<sup>外</sup>勝手

ナル所置ニヨリ人民自主ノ權ヲ破ラサル

様取極タル事

第四節 ○ 刑法ヲ言渡セラル者ヲ平常ノ人

ニ復スル事

第五節 ○ 定リタル年限ノ間刑法ノ申渡ヲ延  
期ニタル後其罪ヲ許ス事

刑法目錄

前加規則

第一卷 ○ 輕罪重罪ノ罰及ヒ其罰ヨ  
リ生スル事

第一節 ○ 重罪ノ罰

第二節 ○ 輕罪ノ罰

第三節 ○ 重罪輕罪ノ為ニ言渡ス可キ罰ノ種

類

第四節 ○ 重罪輕罪ヲ再犯セシ罰

第二卷 ○ 重罪輕罪ノ為ニ罰セラレ



可キ人宥ルサル可キ人引請タル可  
キ人

第三卷○重罪輕罪及ヒ其罰方

第一章○公ナル事ニ對シタル重罪輕罪

第一節○國ノ安寧ヲ妨ル重罪輕罪

第一條○國ノ外部ノ安寧ヲ妨ル輕重罪

第二條○國ノ内部ノ安寧ヲ妨ル重罪

第一○國王及ヒ國王ノ親族ニ對シ害ヲ

行ヒ又ハ企ツル事

第二○内亂ヲ起シ無法ニ兵ヲ起シ國民

ニ對シ暴行掠奪ヲ行ヒ國ヲ動揺スル

重罪○上ノ二件ニ適當セル規則

第三條○國ノ外部又ハ内部ノ安寧ヲ妨ク

キ重罪ヲ打明ス<sub>テ</sub>打明<sub>サ</sub>サル事

第二節○國ノ政体ヘ對シタル輕重罪

第一條○人民ノ權ヲ行フヲ妨ケタル輕重

罪

第二條○人民自主ヲ妨タル罪

第三條○官吏等ノ徒党シテ惡事ヲ謀ル事

第四條○行法權及ヒ裁判ノ權ヲ犯ス事

第三節 ○公然ノ靜謐ニ對シタル輕重罪

第一條 ○偽ヲ為シタル罪

第一 ○贋金

第二 ○國璽、紙幣、證憑、手形類、金銀ノ極印、  
印紙、記号、ヲ偽ル事

第三 ○公然ノ書類及ヒ貿易又ハ為替座ニ  
管係セル書面ヲ偽ル事

第四 ○私ノ書面ヲ偽ル事

第五 ○往來切手身狀請合ノ證書ヲ偽ル  
事

○惣規則

第二條 ○官吏等其職掌ヲ行フニ於テ犯シタ  
ル輕重罪

第一 ○金銀其他ノ物ヲ預ル官吏其預リシ物  
ヲ掠ムル事

第二 ○官吏收斂ノ罪

第三 ○官吏其官職ニ不相當ナル事ヲナシ  
又ハ商賣ヲ行ヒタルノ輕罪

第四 ○官吏ノ賄賂ヲ受ル事

第五 ○官吏其威權ヲ擅ニスル事

第六〇〇 民生ノ證書ヲ認ル事ニ係リタル輕罪

第七〇〇 官吏未タ其任ニ就サル前其職事ヲ行ヒ又ハ既ニ廢任ノ後其職事ヲ行フノ罪

○格別ナル規則

第三條〇 僧徒禮拜ヲ為スニツキ公然性質ヲ妨ル事

第一〇〇 民生ノ證書ヲ害スル罪

第二〇〇 僧徒公然ノ說法ヲ述ルニツキ政府ノ權ヲ誹謗シ又ハ罵詈スル事

第四〇〇 僧徒法教ノ事ニツキ外國ト通信スル事

第四條〇 政府ノ權ニ抗抵シ及ヒ命ニ背ク事

第一〇〇 官吏ノ命ニ抗スル罪

第二〇〇 政府ヨリノ威權ヲ任セラレタル人ニ對シ暴行ヲナス事

第三〇〇 法律ニ從ヒ行フ可キ務ヲ肯セザル事

第四〇〇 獄ニ繫レタル者ヲ取逃ス事  
罪人ヲ藏匿スル事

第五〇封印ヲ破ル事」公然ノ書室ヨリ書類ヲ竊ニ取ル事

第六〇後世ニ長存スル建物ヲ毀損スル事

第七〇官命又ハ職掌ヲ偽僭スル事

第八〇禮拜ヲ自在ニ行フニ妨ヲナス事

第五條〇兇行ヲ為ス人ノ党ヲ結フ事」無籍及ヒ乞者

第一〇兇行ヲ為ス人ノ党ヲ結フ事

第二〇無籍

第三〇乞者

〇無籍及ヒ乞者ニ管係シタル規則

第六條〇書類偶像又ハ彫刻物ヲ其著述家又ハ彫工ノ姓名ナク世上ニ流布セシメテ行フタル事<sup>罪</sup>

〇別段ナル規則

第七條〇法律ニ背キタル會合

第二章〇私事ニ對シタル輕重罪

第一節〇人エ對シタル輕重罪

第一條〇殺害及ヒ其外死形ニ處ス可キ罪  
状」人エ對シ害ヲ加エント威脅スル事

第一〇殺害「暗殺」親殺「子殺」毒殺

第二〇人ニ對シ害ヲ加エント威脅スル

事

第二條〇殺害ト稱ス可ラサル故意ノ毆傷  
及ヒ其他ノ故意ノ輕重罪

第三條〇意ナクシテ為シタル殺害毆傷「辨  
解」ス可キ輕重罪「辨解」ス可カラサル輕重  
罪「輕罪」トモ重罪トモ稱ス可カラサル殺害  
毆傷

第一〇意ナクシテ為シタル殺害毆傷

第二〇「辨解」ス可キ輕重罪及ヒ「辨解」ス可  
ラサル輕重罪

第三〇輕罪トモ重罪トモ稱ス可ラサル殺害  
毆傷

第四條〇風俗ヲ亂ス罪

第五條〇法律ニ背キテ人ヲ捕ユル事及ヒ裁  
判所ノ命ナクシテ人ヲ禁錮シ置ク事

第六條〇小兒ノ民生ノ證ヲ害スル輕重罪

小兒ノ性命ヲ害セントスル輕重罪「拘引」  
弁禮ノ規則ヲ破ル事

第一〇小兒ニ對シタル輕重罪

第二〇拘引

第三〇弁禮ノ規則ヲ破ル事

第七條〇偽リノ證據「謔訴罵詈」人ノ密事ヲ

許ク事

第一〇偽リノ證據

第二〇「謔訴罵詈」人ノ密事ヲ許ク事

第二節〇物ニ對シタル輕重罪

第一條〇賊

第二條〇偽計ニテ為シタル分散「偽計ヲ以テ

金ヲ掠ムル事及ヒ其他偽計ノ種類

第一〇偽計ニテ為シタル分散及ヒ偽計

ヲ以テ金ヲ掠ムル事

第二〇信ヲ破ル事

第三〇博奕場富ノ場及ヒ質屋等ノ規則ヲ破ル罪

第四〇糶賣ニ妨ヲナス罪

第五〇製造貿易藝術ニ管係シタル規則ヲ破ル罪

第六〇海陸軍工兵糧ヲ送ルコトヲ任セラレ者ノ

罪

第三條〇人ノ所有物ヲ損害スル事

○惣規則

第四卷○取締向ノ規則ヲ犯シタル  
罪及ヒ其罰ノ事

第一章○其罰ノ事

第二章○取締向ノ規則ヲ犯シタル罪及ヒ其罰

第一節○第一種

第二節○第二種

第三節○第三種

○以上三節ニ適當シタル規則

○惣規則

林法目錄

第一章○林方ノ事

第二章○林ノ支配

第三章○國ノ領地ノ一部分タル森林

第一節○林ノ經界ヲ定ムル事

第二節○林木ヲ伐リ又ハ小木ヲ植付ル事

第三節○林ヨリ伐リ出シタル財木ヲ糶賣

ナス事

第四節○林木ヲ伐リ出ス事

第五節○林ノ廣狹ヲ測量スル事及ヒ林ノ檢

查

第六節 ○ 樫ノ實ヲ糶賣ニスル事 樫ノ實ヲ豚

ニ喂スル事 其他家畜獸ノ食物トナル樹果

第七節 ○ 國ニ屬スル林ヲ私ノ名ニテ用ユル

事

第八節 ○ 國ニ屬スル林ヲ用ユルノ權

第四章 ○ 國帝ノ領地ノ一部分タル森林ノ事

第五章 ○ 國ヨリ人ニ貸シ借主ノ死後再ヒ國ノ

附屬トナル可キ林

第六章 ○ 村邑ニ屬スル林及ヒ役所ニ屬スル林

第七章 ○ 林法ヲ受可キ會社ニ屬スル林

第八章 ○ 平人所有ノ林

第九章 ○ 林ヲ公然ノ用ニ供スル事

第一節 ○ 船舶ヲ造營スルニ備ヘタル林

第二節 ○ 萊<sup>ラ</sup>尼<sup>ニ</sup>河上ノ橋及ヒ堤ヲ造營スルニ

備ヘタル林

第十章 ○ 森林ノ取締向

第一節 ○ 總テ何レノ森林ナリトモ適當ス可

キ規則

第二節 ○ 林法ヲ受可キ森林ノミニ適當ス可



キ別段ノ規則

第十一章○森林ニ係リタル輕罪及ヒ取締向ノ

規則ヲ破リタル罪ヲ訴訟スル事

第一節○森林支配ノ名ニテ申出シタル訴訟

第二節○平人ノ名ニテ申出シタル訴訟

第十二章○總テ森林ノ規則ヲ破リタル罪状ノ

罰

第十三章○裁判ノ取行ヒ方

第一節○森林支配又ハアロキリウル役名前

河ノ訟ニヨリナシタル裁判ヲ取行フ事見ル

第二節○平人ノ為ニ為シタル裁判ヲ取行フ

事

第十四章○惣規則

第十五章○假ノ規則

○樹木ノ大サト其種類トニ因リ

其樹木ヲ伐リ又ハ傷クルニツ

キテノ罰金ノ目錄

林法ヲ取行フニツキタル命令書

第一章○森林支配ノ事

第一節○森林ノ惣規則

第二節 ○ 各州ニ於テ森林ノ支配ニ管係シタ  
ル人

第一條 ○ 森林ノ支配人

第二條 ○ 森林ノ廣狹ヲ測量スル人

第三條 ○ 騎馬ノ看守人歩卒ノ看守人

第四條 ○ 森林ノ支配人及ヒ其他森林ノ事ヲ

任セラレタル人ニ適當シタル規則

第三節 ○ 森林ノ事務ヲ教ユル学校

第一條 ○ 上等學校

第二條 ○ 下等學校

第二章 ○ 國ノ領地ノ一部分タル森林

第一節 ○ 林ノ經界ヲ定ムル事

第二節 ○ 林木ヲ伐リ又ハ小木ヲ植付ル事

第三節 ○ 一時ニ伐拂フ可キ森林ノ部分ヲ定

ムル事」林ノ廣狹ヲ測量スル事」冬時ニ至リ

伐ル可キ樹木ヲ夏時ヨリ擇ミ置ク事」後ニ

至リ伐ル可キ木ヲ印ヲ付ケ置ク事」

第四節 ○ 林木ヲ伐リ出ス事

第五節 ○ 林ノ廣狹ヲ測量スル事及ヒ林ノ檢

査

第六節○樫ノ實ヲ糶賣ニスル事 樫ノ實ヲ豚  
ニ喂スル事 其他家畜類ノ食物トナル樹果  
風ノ為ニ吹倒サレタル木無法ニ伐倒シタ  
ル木ヲ賣拂フ事 及ヒ其外些少ナル賣拂ノ  
事

第七節○樹木ヲ伐拂ヒシ跡ニ新ナル樹木ヲ  
植付ル事ヲ許ス事

第八節○國ニ属スル林ヲ私ノ名ニテ用ユル  
事

第九節○國ニ属スル林ヲ用ユルノ權

第三章○國帝ノ領地ノ一部分タル森林ノ事

第四章○國ヨリ人ニ貸シ借主ノ死後再ニ國ノ  
附属トナル可キ林

第五章○村邑ニ属スル林及ヒ役所ニ属スル林

第六章○林法ヲ受可キ會社ニ属スル林

第七章○平人所有ノ林

第八章○林ヲ公然イ用ニ供スル事

第一節○船舶ヲ造營スルニ備ヘタル林

第二節○萊尼河上ノ橋及ヒ堤ヲ造營スルニ  
備ヘタル林

- 第九章 ○ 森林支配ニ属スル森林ノ取締向
- 第十章 ○ 森林支配ノ名ニテ申出シタル訴訟
- 第十一章 ○ 森林支配又ハ「アロキユリウル」ル前ヲ見  
ノ訟ニヨリナシタル裁判ヲ取行フ事
- 第十二章 ○ 森林ヲ伐開ク事ニツキタル假ノ規  
則

○ 森林ヲ守ルルニツキ佛蘭西全  
國ヲ區分シタル州郡ノ目錄

附録目錄

- 一 不在ノ事
- 一 威権ヲ擅ニスル事
- 一 民生ノ證書ノ事
- 一 市街ノ墻塼ニ張付ル報告書ヲ認ル人ノ事
- 一 為替役人ノ事
- 一 政府ヨリ全権ヲ委任サレシ人ノ事
- 一 狂人ノ事
- 一 街路ト家屋トノ経界ヲ平列セシムル事
- 一 海陸軍ノ事

一 工人ノ為ニ危難ヲ生シ苦痛ヲ起シ或ハ健康  
ノ害トナル可キ製造所ノ事

一 會社ヲ結フ事

一 法律ニ背キ喧シキ會合ヲナス事

一 公事ノ代言人ノ事

一 裁判所ニテ訴訟方ト相手方ト雙方ノ名代人  
トナリテ公事ヲ取扱フ官吏ノ事

一 佛蘭西バンクノ事

一 裝飾ニ用ユル諸物品ノ事

一 商人集會所ノ事

一 貧民ヲ救フ役所ノ事

一 發明ヲナシタル者ニ期限ヲ立テ別段ノ免許  
ヲ與フル事

一 預リ金ノ事

一 工人等ノ貯タル金ヲ預リ置ク事

一 保證ノ事

一 獵ノ事

一 政府ニ屬スル城寨ノ事

一 鐵路ノ事

一 挽船者ノ通路ノ事

- 一 村落ノ道路ノ事
- 一 墓所ノ事
- 一 佛蘭西ノ戸籍ニ入ル事
- 一 総テ法律ノ事
- 一 鳩ヲ養ヒ置ク場所ノ事
- 一 動産ノ價ヲ積リテ糶賣ニスル人ノ事
- 一 村落ノ事
- 一 裁判所ノ威権ノ事
- 一 兩箇ノ裁判所ノ権相衝突スル事
- 一 僧徒集會ノ事

一 コンセイユルデター」佛蘭西ニテ國政ヲ議スル  
 為メ任セラレタル官吏等

一 「コンセイユルゼ子ラウ」佛蘭西各州ニ於テ租稅  
 ヲ取聚ムルヲ議スル

為メ  
 會合ノ事

一 「コンセイユルドブレヘクテウ」佛蘭西各州ニ  
 於テ訴訟ヲ聽ク為ニ備エタル  
 下等ノ裁判所ノ事

一 罪人ヲ禁錮スル事

一 諸事物ニツキ偽ヲナス事

一 「クウルダツシイ」佛蘭西各州ニテ重大ナル  
 訴訟ヲ聽ク為ニ呼集ムル  
 上等ノ裁判所ノ事

一 クウルドカツサシランニシタル裁判所ニテ言渡  
所裁判ノ事

一 會計裁判所ノ事

一 諸種ノ裁判所ノ事

一 商法ノ世話役人ノ事

一 佛蘭西ノ小都府村落等ニテ品物ノ賣拂ヲ呼  
ヒ歩行スル人ノ事

一 <sup>パリス</sup>巴勒ヨリ佛蘭西ノ各部エノ里數ノ事

一 書面ニテ人ニ汚名ヲ蒙ラシムル事

一 國ノ領地ノ事

一 帝王ヨリ國ニ属スル地ヲ取上ケ官吏ニ與ル

事

一 國ノ政事向ニ係リタル權ヲ行フニツキ定メタ  
ル居所ノ事

一 國民其扶助ヲ受ルニツキ定リタル居所ノ  
事

一 總テ水ニ係リタル事

一 温泉ノ事

一 池沼ノ事

一 毛蟲ノ巢ヲ除キ去ル事

- 一 法律学校ノ事
- 一 醫學学校ノ事
- 一 國債ノ證票ノ事
- 一 棄兒窮孤ノ事
- 一 選舉ノ事 各郡各州ノ議事官ニ人ヲ選舉スルヲ云
- 一 裁判所ニ證書類ヲ書留ル事
- 一 漂流物及ヒ水底ヨリ舉リタル拾ヒ上ケシ品物ノ事
- 一 法教ニ係リタル設備物ノ事及ヒ尼ノ聚會ノ事

- 一 國益ノ為ニ所有物ヲ取上ル事
- 一 外國ヨリ我國ニ來リテ罪ヲ犯シタル者ヲ裁判ノ為メ其政府ヘ引渡ス事
- 一 製造所ノ事
- 一 寺院造營ノ事
- 一 外國ニアル佛蘭西人ノ事
- 一 貿易ノ取締人ノ事
- 一 郷保兵ノ事
- 一 裁判所ニテ吟味訴訟裁判等ノ書類ヲ貯置ク場所ノ事



一 裁判所ニテ吟味訴訟裁判等ノ書類ヲ書留ム  
ル役人ノ事

一 海草ノ事

一 時規細工ノ事

一 貧院ノ事

一 裁判所ノ命令ヲ行フ官吏ノ事

一 活字ヲ刷スル人ノ事

一 國中教育ノ事

一 灌溉ノ事

一 コジランドノウル  
文武ノ勲功ヲ賞ル為ニ  
設ケタル位階

事

一 書肆ノ事

一 政府年々ノ費用ニ供センカ為ニ備ヘタル國

中租稅高ノ書付ノ事

一 富ノ事

一 製造ノ事

一 沼ノ事

一 金銀物ノ事

一 鑛山ノ事

一 質屋ノ事

- 一 外國人ヲ自國ノ戶籍ニ入ル事
- 一 證書類ヲ預ル官吏ノ事
- 一 裁判所職掌ノ事
- 一 金銀細工物ノ事
- 一 商賣ヲ行フ人其免許ヲ得シカ為ニ税ヲ出ス事
- 一 川獵ノ事
- 一 穀物等ヲ盜ム罰ノ事
- 一 度量ノ事
- 一 毒トナル物ヲ商賣スル事

- 一 鐵路取締ノ事
- 一 製藥所取締ノ事
- 一 車往來ノ取締ノ事
- 一 農業ノ取締ノ事
- 一 人身健康ニ係リタル取締ノ事
- 一 出版物ノ事
- 一 印刷ウイレーシユ及ヒイポラク前ニ見ユノ事
- 一 出版物ノ株ノ事
- 一 造營財主ト工人トノ争ヲ裁決スル為擇ハレタル人ノ事

- 一 地代ノ事
- 一 車ニテ運送スル事及ヒ公然ノ車ノ事
- 一 道路ノ事
- 一 財主負債人ニ属スル所有物ヲ取リテ他人ニ渡ス事
- 一 封印ノ事
- 一 墳墓ノ事
- 一 地ノ務ノ事
- 一 印紙ノ事
- 一 裁判人給料ノ事

- 一 工人等毎日ノ給料ノ事
- 一 歩者通行ノ為ニ橋、波戸場、市街ノ側面ニ設ケタル高キ道路ノ事
- 一 各地ノ風俗ノ事
- 一 田地農業ノ事ニ管係シタル風俗ノ事
- 一 賣拂ノ事
- 一 道路市街ノ支配ノ事

一 佛蘭西法律追加  
年代ノ順ニテ  
記シタルモノ

一 心イ、ナポレヲン帝ノ立タル法律追加

一 直稅法律追加

箕作中博士譯

